

強固なネットワークを活用した 『伴走型ソリューション』

大阪信用金庫 だいしん総合研究所

野崎 知史

岡本 慎



大阪信用金庫

■ 事業概要

➤大阪信用金庫の顧客（中小企業）が受付したあらゆる相談を、だいしん総合研究所が連携機関との強固な関係を駆使し、課題解決を行う

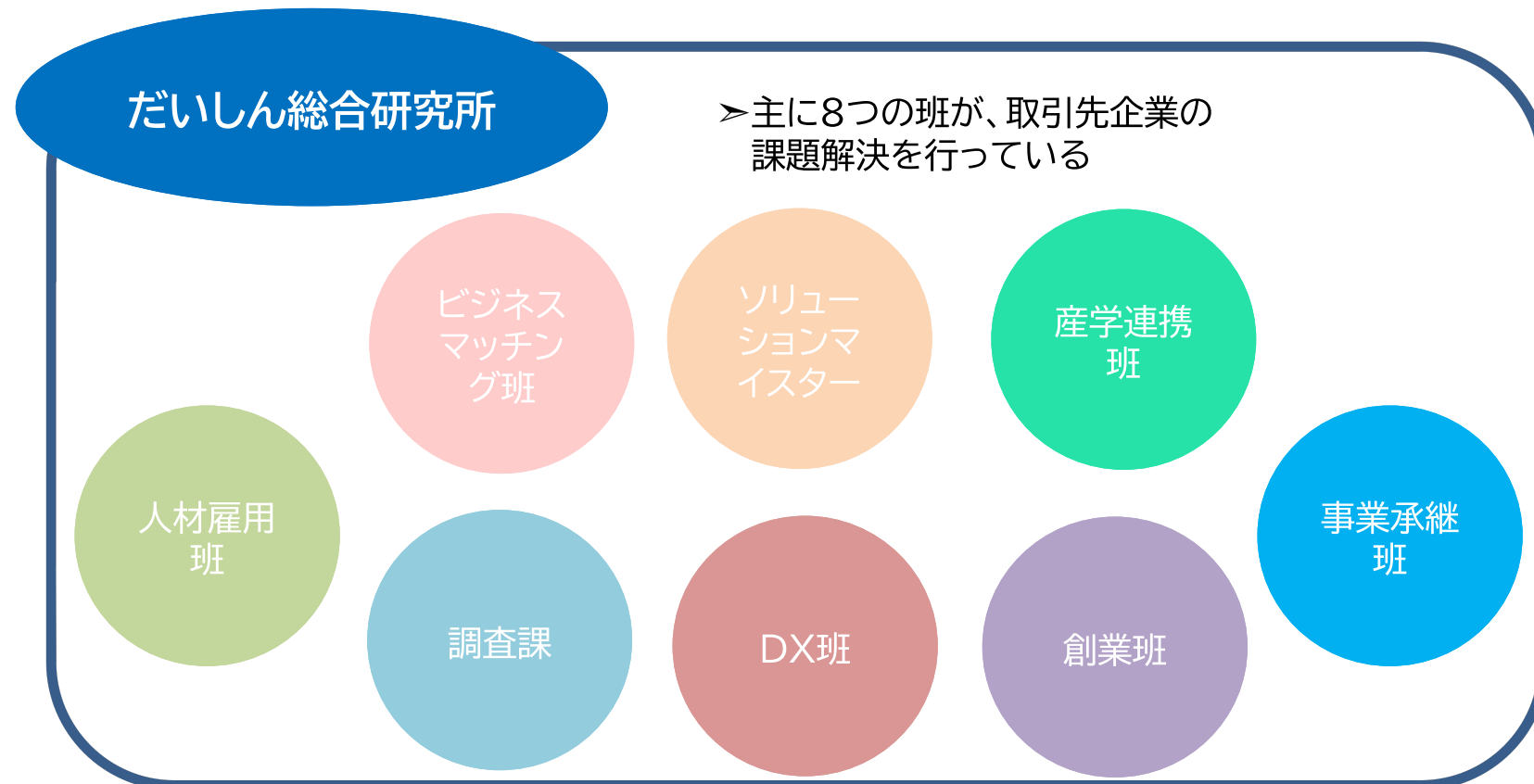
■ 目的

➤連携機関との**強固な関係**を活かし、大阪信用金庫の取引先企業と連携機関を有機的に繋ぎ、
「複合的に伴走支援」を行うことで、地域経済の発展に資することを目的としている

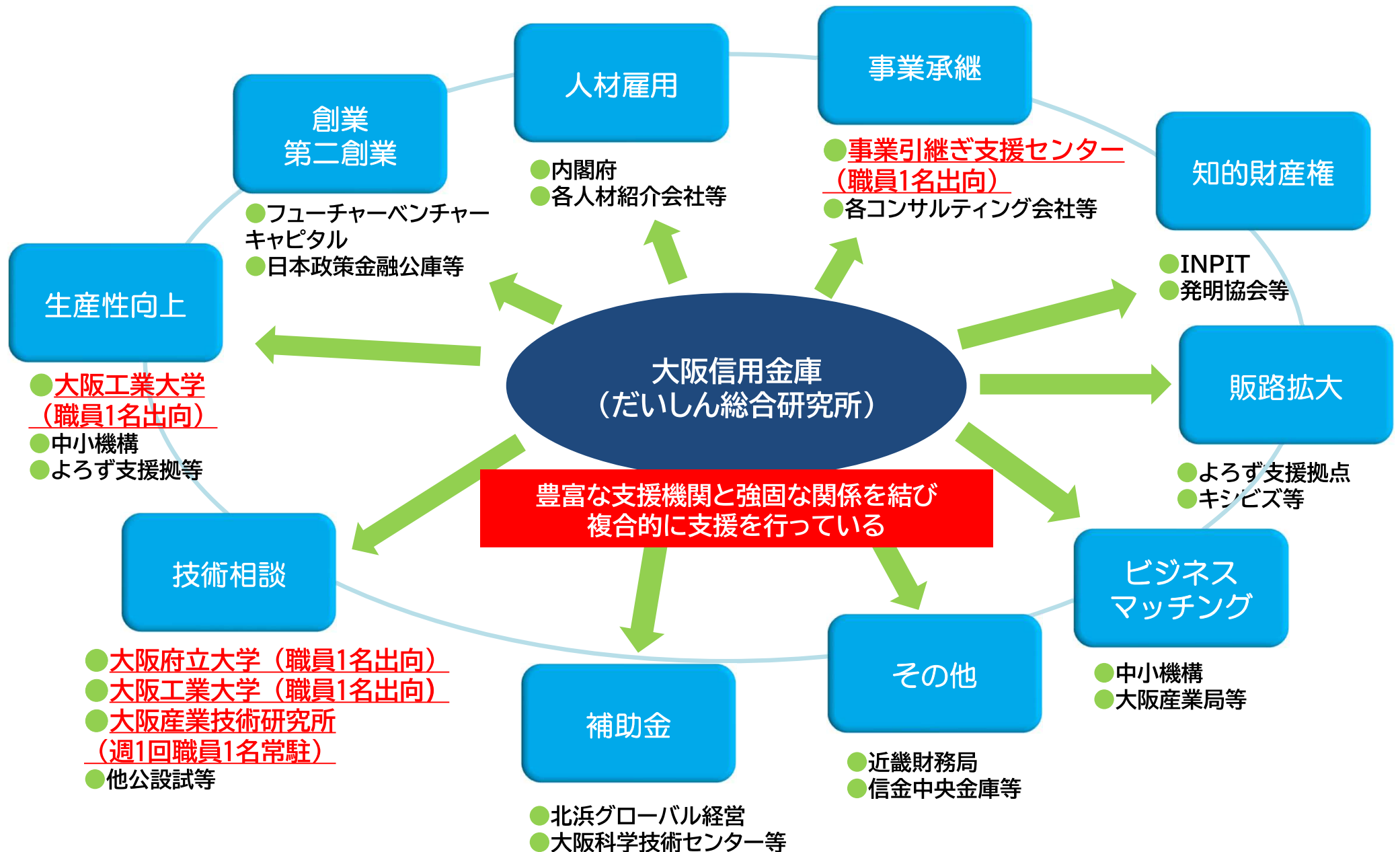
組織概要

➤ だいしん総合研究所について

- 大阪信用金庫の部署の一つであり、課題解決業務を行っている
- 現在、31名の人員(15名の中小企業診断士(5名取得予定))が各班に分かれて、取引先企業課題解決を行っている



<様々な相談に対する連携機関との連携イメージ>



■だいしん総合研究所の伴走支援型サイクル

新たな課題があれば
再度サイクルを回す

課題解決まで
フォロー

フォロー
アップ

課題の聞き取り

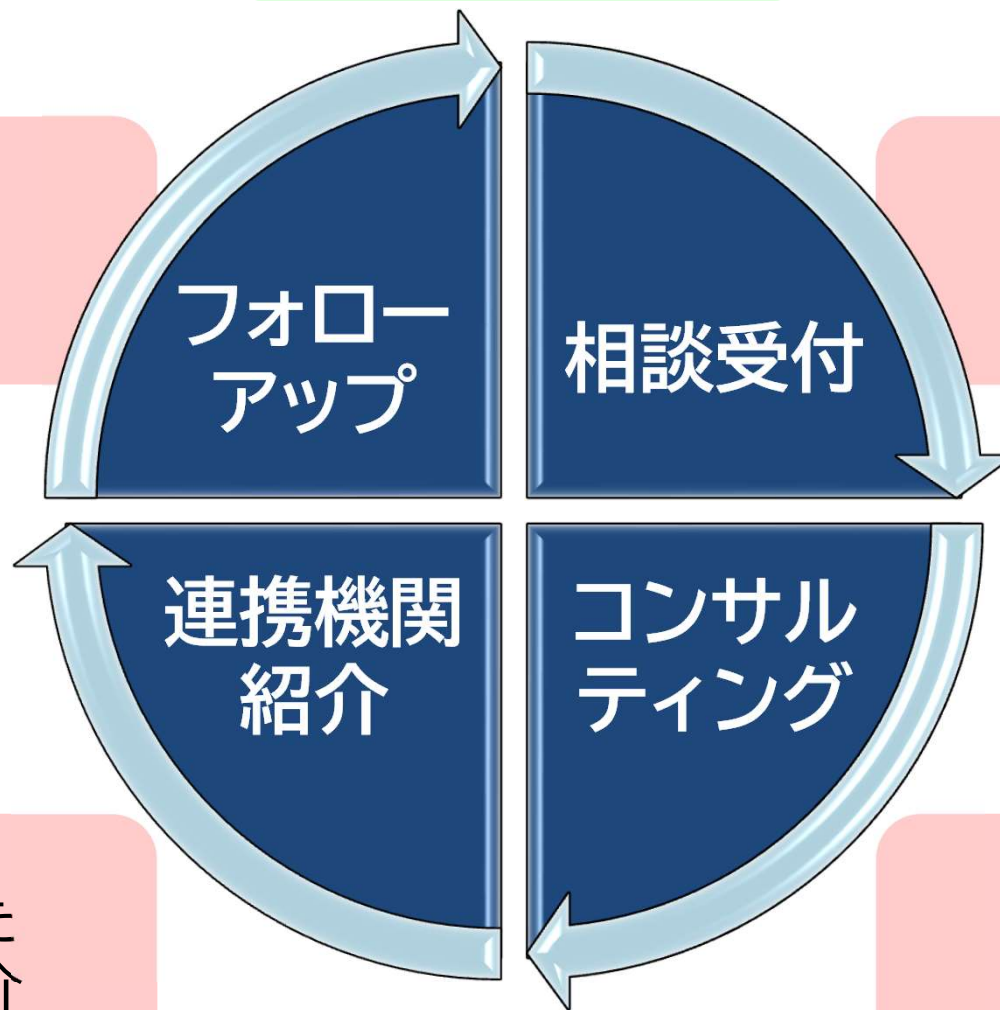
相談受付

連携機関
紹介

コンサル
ティング

解決策に適した
支援機関を紹介

だいしん総研が
解決策を提案



■ 工夫した点

繋がりの
「太さ」

～強固な関係づくり～

繋がりの
「多さ」

～連携機関を増やす～

面の
「広さ」

～情報収集力向上～

■ 工夫した点

➤ 職員の出向、常駐

繋がりの太さ
～強固な関係づくり～



大阪工業大学
※中小企業診断士1名常駐



大阪府立大学
※URA1名常駐



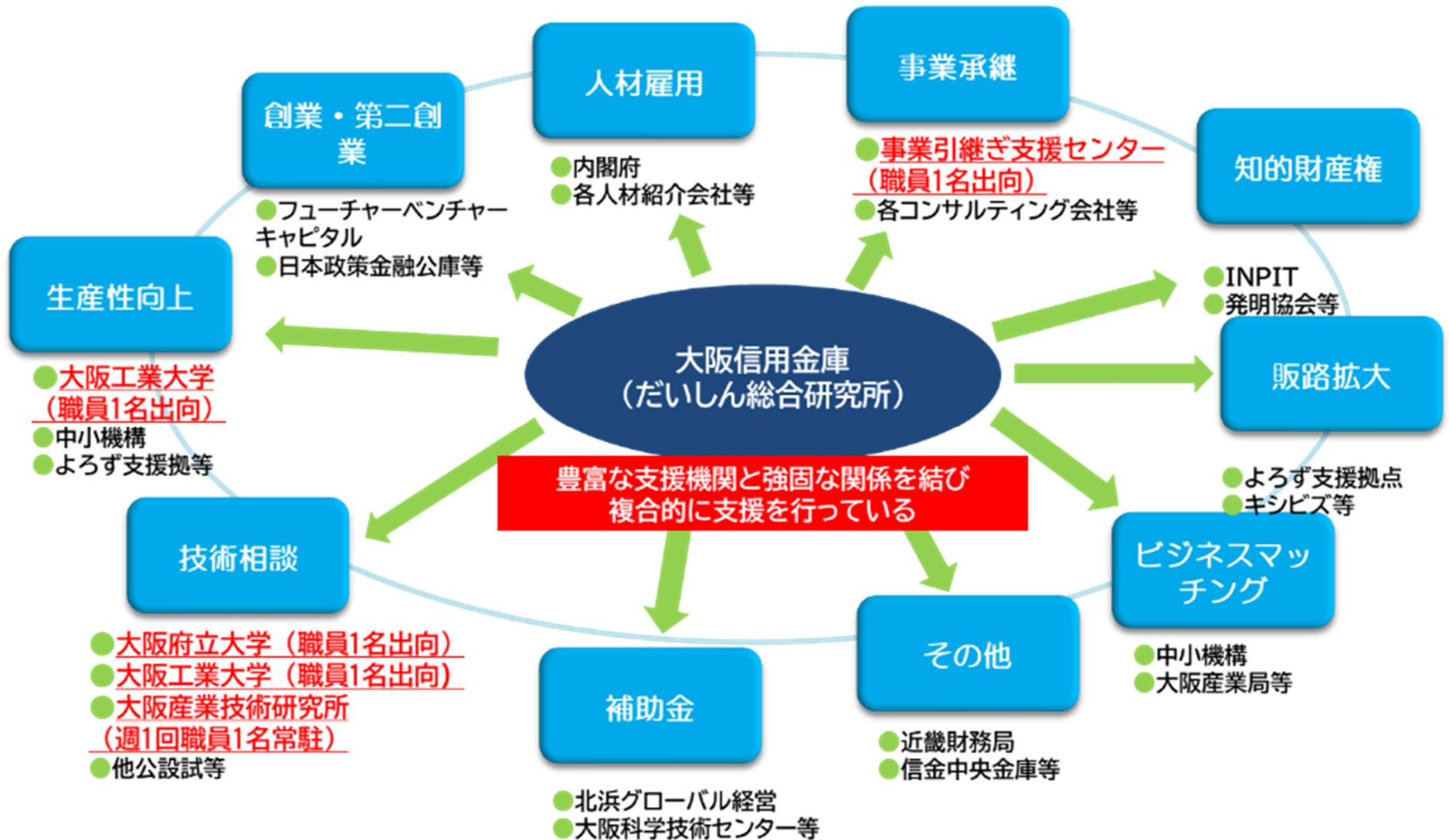
大阪産業技術研究所
※週1回コーディネーター
1名常駐



事業承継・引継ぎ支援センター
※中小企業診断士1名常駐

工夫した点

繋がりの多さ
～連携機関を増やす～



工夫した点

面の広さ
～情報収集能力向上～

➤得意先係向けの連携支援機関勉強会開催



MOBIO



大阪工業大学



大阪産業技術研究所

※連携機関9機関に依頼し、得意先係向けの連携支援機関勉強会を月1回開催
※営業店の得意先が課題解決ツールを理解する事で、情報収集能力が向上した

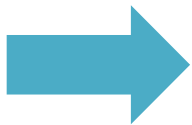
事業の普及度

●技術相談(平成15年度～令和2年度)



- ・府大への相談件数・・・558件
- ・工大への相談件数・・・49件
- ・共同研究、受託研究、学術指導、寄付研究の締結・・・66件
- ・産技研、環農水研への相談件数・・・217件

●補助金の相談(平成24年度～令和3年度)



- ・ものづくり補助金・・・464件支援、237件採択
 - ・事業再構築補助金・・・377件支援、161件採択
- (※大阪府内の金融機関で採択件数1位)

●ラボツアーの開催



- ・大阪技術研ラボツアーの開催
(平成24年度～令和2年度累計)
・・・180社
- ・環農水研ラボツアーの開催
(平成25年度～令和2年度累計)
・・・84社

この街のホームドクター
大阪信用金庫 《だいしん》 ORIST 大阪産業技術研究所 和泉センター

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所 和泉センター
(旧 産業技術総合研究所(産技研))

「大阪技術研ラボツアー」のご案内

と き：2019年6月19日(水) 14:00～16:00
と ころ：大阪産業技術研究所 和泉センター
(和泉市あゆみ野2-7-1)

主 催：大阪信用金庫
地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
協 賛：(株)だいしん総合研究所

大阪信用金庫は大阪産業技術研究所(以下「大阪技術研」)と共同で、主にものづくり事業者への支援の一環として、平成25年より「大阪技術研ラボツアー」を隔月で開催しています。

「大阪技術研」は、実験試験、機器・施設の利用にとどまらず、技術相談も積極的に行っており、ものづくり事業者にとって非常に役立つ施設です。

このラボツアーは、ものづくり事業者が「大阪技術研」をご活用いただく上でも大変参考になるツアーです。響っての

大阪技術研ラボツアー

この街のホームドクター
大阪信用金庫 《だいしん》 大阪府立環境農林水産総合研究所

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所

「環農水研ラボツアー」のご案内

と き：2020年11月10日(火) 14:00～16:00
と ころ：大阪府立環境農林水産総合研究所(羽曳野市尺庭442)
主 催：大阪信用金庫、大阪府立環境農林水産総合研究所
協 賛：(株)だいしん総合研究所

大阪信用金庫は、大阪府立環境農林水産総合研究所(以下「環農水研」)と共同で、主に食品関連事業者への支援の一環として平成26年より「環農水研ラボツアー」を隔月で開催しています。

「環農水研」は、環境調査や農林水産業に関する調査研究などで実績を持っているだけではなく、加工食品の商品開発支援などにも力を入れており、小さな事業者から大きな事業者まできめ細かな対応を行っています。

食品関連で商品開発をお考えの事業者はもちろん、食品以外の事業者もご参加いただけます。響ってのご参加をお待ちしています。(参加費無料)

環農水研ラボツアー

事業の普及度

●他の相談

- ・INPITへの相談件数・・・10件
(※令和3年度は支援機関勉強会が功を奏し100件以上の相談件数)
- ・ビジネスマッチング・・・約200件
- ・中小機構「地域の卓越企業 発掘 & 育成プログラム」・・・6社

●他連携機関と協力したイベント

- ・ベンチャー型事業承継共催「アトツギセッション」(月1回開催)
- ・課題解決型マッチングフェアの開催
(※年数回開催予定。年1回は堺商工会議所と共催で32の連携機関に集まってもらい、顧客の相談を受付。)
- ・ものづくりファクトリーの開催(月1回開催)
- ・工大、府大との共催等のイベント・・・11回(予定含む)



アトツギセッション



課題解決型マッチングフェア



ものづくりファクトリー

事業の普及度

➤ 工大・府大と連携したイベント

大阪工業大学 × 大阪信用金庫 共催開講

現場改善で時代に対応！
製造業の生産性向上塾

多品種少量生産、製品ライフサイクルの短縮化、さらには新興国の台頭など、製造業を取り巻く環境はますます厳しくなっています。生き残り手段として、IoT、ロボット、AIの活用が考えられます。カイゼン活動の延長線上にこれらの活用が課題解決の1つとして存在するならば、まずはカイゼン活動そのものを推進する必要があります。現状のやり方を見直し、製造業のカイゼン活動を推進していくために、本塾を開講いたします。

【主な開講プログラム】

- ◎原理・原則で考えるカイゼン活動のすすめ
- ◎模擬ライン生産演習
- ◎ものづくり企業訪問
- ◎プレゼン&検討会

※詳細は別紙にてご確認ください。

講師紹介
大阪工業大学工学部環境工学科・教授
楳田 健多郎
1996年大阪工業大学大学院博士後期課程単位取得退学、同大学工学部工学科助手を経て、現在に至る。専攻は、経済性工学、インダストリアルエンジニアリング、博士(工学)。
《主な著書》『生産工学—ものづくりマネジメント工学—』(共著)

開催日時 2021年3月より全2回開催
対象 ①製造業を営む経営者・管理者の方
②現場の改善活動で悩みを持つご担当者様
定員 10名 ※原則1社につき1名まで
会費 無料
開催場所 大阪工業大学 大宮キャンパス
申込方法 裏面参加申込書をご利用ください。
連絡先 大阪信用金庫(事務局:助田、しん総合研究所) ☎06-6775-6590



製造業の生産性向上塾

招待券
完全招待制
セミクローズド
第一回

Export 2022

大阪工業大学 学生アイデア・作品展示会 エクスポート

開催日時: 2022年2月7日(月) 13:00~16:00
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、開催方法を変更する場合があります
会場: 大阪工業大学 梅田キャンパス 8F Xport
※事前申込の上、当日F受付にてご所属・お名前を申し付けください

本イベントは大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科の学生を中心とした、完全招待制(セミクローズド)のアイデア・作品展示会です。アイデアやデザインを製品化検討いただけそうな企業様を中心に招待させていただいております。ぜひとも、皆様の新製品開発や新規事業にお役立ていただき、またアイデアのブラッシュアップについても積極的にご提案ください。

※本イベントでのアイデア・デザインについて利用を希望される場合は研究支援・社会連携センターに別途ご相談ください。

右のQRコードの登録フォームより申込ください。(2月3日締切)
※以下メールでも申込も可能です。ご所属とお名前を連絡ください。

主催: 大阪工業大学 研究支援・社会連携センター
TEL:06-6954-4140 oit.kenkyu@joshu.ac.jp
協力: 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」
大阪デザイン振興プラザ 大阪信用金庫

ODP
Xport
大阪信用金庫

工大 空間デザイン学科
とのコラボイベント
「Export2022」

大阪産業技術研究所 ORIST × 大阪工業大学

2022年
海外展開支援セミナー
第1回海外展開における知的財産の留意点について
第2回技術流出、安全保障貿易管理について

【自社の製品を海外で販売したい】「海外市場に合う製品開発をしたい」それらの実現のために何を付加しておくべき様々な事例のうち、第1回は「知的財産」第2回は「技術流出・安全保障貿易管理」について、それぞれの専門職からご講演いただきます。

参加費 無料
会場・Web

2022年
第1回 3月9日(水) 13:00~16:00
第2回 3月15日(火) 13:00~16:00

【第1回 3月9日(水) プログラム】
国際的な知的財産制度の動向と日本企業の留意点 13:00~13:55
大阪工業大学大学院 知財法研究科 教授 内藤 浩樹
※ 国際競争力の確保に有効な知的財産制度の動向と今後の日本企業の留意点について
ものづくり中小企業が海外展開する際の知的財産の留意点 14:00~14:55
(特) 工業所有権部局・研修部 (INPIT) 近畿総務部 知財戦略エキスパート 渡野康晴
※ 海外展開の場面に伴う知的財産や契約上のリスクと対策及びその事例について
知財観点からの中小企業の海外展開の留意点 15:00~15:55
(特) 日本貿易振興機構(ジェトロ) イノベーション・知財部知財戦略課 アドバイザー 中村誠一
※ 海外進出の前におこなうべき注意と権利取得の観点について

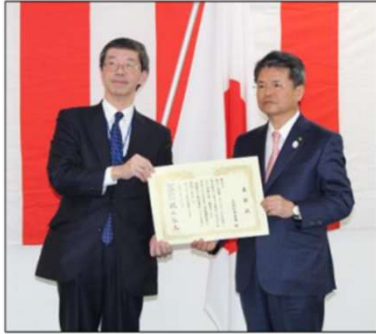
【第2回 3月15日(火) プログラム】
安全保障貿易管理制度及びその制度改正について 13:00~13:55
経済産業省 貿易経済協力局 安全保障貿易管理課 課長補佐 長谷川 寛典
※ 輸出/対外技術提供の制限を受け「外為法」に基づく安全保障貿易管理と2021年度制度改正について
(特) 技術流出防止に向けた警察との連携の紹介 14:00~14:55
大阪府警察本部 警備部 外事課 課長補佐 西川 舞尚
※ 「調整中」技術流出防止に向けた大阪府警察の取り組みについて
ORIST「EMC技術研究支援センター」における海外展開支援 15:00~15:25
(特) 大阪産業技術研究所 製品信頼性研究所 電子応用工学研究室 松本元一
※ 電気・電子回路を内蔵する製品の輸出時に課されるEMC規制の内容及びORISTでの支援方法について
ORISTの化学物質管理に関する技術支援について 15:25~15:50
(特) 大阪産業技術研究所 高分子機能材料研究所 部長 中島 隆一
※ 製品中の化学物質管理とORISTでの支援事例について

海外展開支援セミナー開催

※取引先企業の課題解決に繋がるようなイベント・セミナーを
工大・府大と頻繁に行っている

定性効果

産学連携の取組みが地方創生に資する
 「特徴的な取組事例」に認定されました！



内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の川上地方創生総括官補より表彰状が授与された高井理事長(右)



「特徴的な取組事例」認定

当金庫の中小企業支援、地域貢献に対し
中小機構より感謝状授与！
 ~近畿の金融機関で唯一~



《中小機構 内山本部長と高井理事長》



《感謝状》

11月26日(月)本店にて、当金庫のこれまでの中小企業支援、地域貢献に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構)近畿本部の内山本部長から高井理事長に感謝状が授与されました。

この感謝状は、中小機構が今年7月に設立15周年を迎え、これまでの中小機構の活動と連携しつつ、中小企業・小規模事業者の活況及び地域発展に顕著な功労をされた各地の経営者や地域中小企業支援機関の方々に感謝の意を表すもので、全国で94名(うち金融機関5名・近畿は当金庫のみ)が選ばれました。

また、同時に「中小企業応援士」の委嘱も受けました。この「中小企業応援士」は、中小機構が各地で活動されている経営者や地域支援機関の方々に委嘱するもので、こちらは全国で80名(うち金融機関4名・近畿は当金庫のみ)となります。今後も引き続き、「事業承継」「創業・第二創業」「人材雇用」の三本柱を中心に、中小企業・小規模事業者の課題解決に注力していきたいと思っております。

中小企業基盤整備機構から
 感謝状授与、中小企業応援士の
 委嘱を受ける



関西テレビ「報道ランナー」



《辻府大学長と高井理事長》



《感謝状》

7月3日、大阪府立大学(以下、「府大」)において、当金庫との長年にわたる産学連携の取り組みや植物工場への寄付等、これまでの貢献に対し、府大の辻学長から高井理事長に感謝状が授与されました。

府大との産学連携は、平成15年に「だいしん産学連携共創機構」を創設して以来、当金庫職員1名を「産学連携コーディネーター」として府大に常駐派遣し、実効性の高い活動により、取引先の新商品開発などを積極的に支援してきました。

また、平成26年9月の植物工場開設以来、寄付のみならず、コンソーシアムへの企業の紹介など、工場運営の活性化に協力しています。

今後も府大では、府内中小企業の技術支援を通じ、大阪信用金庫とともに地域貢献に寄与していきたいと考えています。

技術課題を抱える企業や、自社商品の科学的な根拠が必要といった取引先がありましたら、だいしん総研へご連絡ください。

平成30年7月
 府大からの
 感謝状授与

■ 定性効果

➤ 各種メディア掲載実績

2005年6月 産学官連携の活動に対し第8回信用金庫社会貢献賞受賞

2008年5月～8月 産経新聞にて「なにわの底力-だいしん物語-」掲載
(全11回)

2010年3月 週刊東洋経済にて「大阪信金流産学連携術」掲載

2010年8月 週刊ポストにて「行列のできる信用金庫」掲載

2012年3月 産学官連携の活動に対し近畿財務局より顕彰状授与

2015年11月 大阪府立産業技術総合研究所との包括連携協定が新聞掲
載ならびにテレビ放送

2015年12月 テレビ大阪ニュースリアル「激動の大阪戦後70年スペシャ
ル」にて放送

2016年4月 経済産業省発表「ソーシャルメディア活用 ベストプラクティ
ス」に会員制マッチングサイト「だいしんなんでもネット」が紹介

2017年4月 日経新聞にて「大阪信金 海外事業支援でHISと連携」掲載

2017年9月 日刊工業新聞にて「大阪信金など、社会課題解決5億円ファ
ンド 中小支援で府と連携」掲載

■ 定性効果

➤ 各種メディア掲載実績

- 2018年1月 日経新聞にて「食品業者支援で府立機関(環農水研)と協定」
掲載
- 2018年2月 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部より
「平成29年度 金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定
- 2018年7月 府大より感謝状授与
- 2019年5月 日経新聞にて「家業次ぎつつ新事業「アトツギ」承継で廃業防
げ」掲載
- 2019年6月 日経新聞にて「大阪信金、堺のシェアオフィスを公開」掲載
- 2019年10月 日刊工業新聞にて「環境省、地域ESG金融促進事業
支援先4機関選定」掲載
- 2019年11月 近畿の金融機関で唯一、中小機構より感謝状授与
- 2020年9月 日経新聞にて「南海電鉄、大阪信金と協定 沿線企業支援へ」
掲載

■ 定性効果

➤ 各種メディア掲載実績

- 2021年3月 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部より「令和2年度 地域創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定、日刊工業新聞にて「大阪信金のビジネスプランコンテスト」掲載
- 2021年7月 日刊工業新聞にて「大阪信金と大阪工大、京伸で生産性向上の工場実習開催」掲載
- 2021年8月 日経新聞にて「大阪信金、人材紹介をてこ入れ スタートアップ生かす」掲載
- 2022年1月 日経新聞にて「再構築補助金の支援数 関西勢上位に」掲載
関西テレビ「報道ランナー」にてだいしん総研の取組が放送
金融経済新聞にて「伴走支援を深化」が掲載

波及効果

工業系



エースシステム株式会社
「全自動連続蒸気炊飯システム」
府大との共同研究により
理論的裏付けを解明



株式会社シケン
「ソラデー」
府大との共同研究により実証した
酸化チタン電極の光触媒応用の
歯垢除去能力に優れた歯ブラシ



pH 13.1

株式会社K&K
「その時その水」
府大との共同研究により
生成に成功したpH13.1の
アルカリ電解水



株式会社テクノライジング
「Windamper」(次世代制振装置)
府大との共同研究を経て
「だいしん創業支援ファンド」
によりベンチャー支援

食品系



株式会社こうはら本店養宜館
(現社名:株式会社舞昆のこうはら)
「舞昆」
府大との共同研究により血中脂肪
減少効果と血圧血糖改善効果の
発酵昆布の開発に成功



みどり製菓株式会社
「Habikino無花果」
府大と共同で行なった
「Habikinoいちじくプロジェクト」
により開発
大阪産(もん)認定



南宗味噌株式会社
「もも糍」(左)
環農水研の「大阪産(もん)
チャレンジ支援事業」により開発
地元岸和田産「包近の桃」の
知名度アップに貢献



横田水産
「茎わかめ」
環農水研の「大阪産(もん)
チャレンジ支援事業」
第63回全国水産加工たべもの展
大阪府知事賞受賞
により開発

波及効果

複合支援での成功例



精密プレス工業株式会社 「エア・ナヘレ」

- ・コロナウイルスの殺菌装置を開発
- ・吸引性能のシミュレーションを大学へ委託
- ・Makuakeを紹介し、クラウドファンディングへ挑戦
- 達成率232%(696,000円)の資金調達ができた
- Makuakeを見たヤマダ電機より連絡があり、「ヤマダモール」での出品が決定！

株式会社古川工務店 「Café madre」

- ・芦屋にカフェをオープン
- ・事業再構築補助金を支援し採択
- ・格闘技ジムの前にオープンした為、アスリート食を研究する大学の先生と契約

株式会社シックスボックス 「くまごはん」

- ・介護食の宅配サービスを開始
- ・事業再構築補助金を支援し採択
- ・介護食の開発で大学と契約
- ・大学より介護食作成のノウハウを技術移転
- ・「くまごはん」ブランド化の為、キンビズを紹介し、月2回訪問



だいしん総合研究所は
これからも連携機関の皆様と一緒に
課題解決支援を行っていきます！



大阪信用金庫